



とよひら 豊平リンゴ並木



DATA・BOARD ①



- ① 北海道札幌市豊平区11条7丁目～美園4条7丁目
- ② 延長1.1km，中央分離帯幅員6m
- ⑤ リンゴ袋かけ行事，豊平りんごマラソン，とよひらリンゴまつり

豊平リンゴ並木は、片側三車線の主要道道札幌環状線の中央分離帯にあり、秋には枝もたわわに真っ赤な実をつけ、コンクリートと自動車に埋めつくされた都市に季節と歴史を伝えてくれる。

リンゴ並木の周辺地域は、かつてリンゴ農園が広がっていたが、昭和三十年以降、急速に進む都市化の波にのみこまれ徐々に姿を消していった。

その後、往時を知る市民が「街路にリンゴの木を」と声をあげたことを機に、市が約一キロの区間に約一〇〇本のリンゴの木を植え、リンゴ並木が誕生した。

造成以来十六年を経たリンゴ並木は、二つのボランティア団体に守られ、秋には収穫を祝う「豊平区民のつどい・リンゴまつり」が催されるなど、地域に受け込み、札幌を代表する並木に育った。